

平成 28 年 7 月 7 日

近畿本部会員各位

本部 原子力・放射線部会講演会の案内

近畿本部 本部長 北村友博

以下の通り本部 原子力・放射線部門の講演会を WEB で、近畿本部会議室で開催しますので、是非参加願います。

1. 講演日時 7 月 22 日 (金) 18:00-20:00

2. 場所 近畿本部 会議室

3. 講演者 日本原子力研究開発機構 (JAEA) 福島研究開発部門
宮本 泰明氏

4. 講演題目 東電福島第一発電所廃炉に伴う廃棄物の処理処分の課題、
研究開発の状況

5. 講演要約 :

東電福島第一原子力発電所から発生する事故廃棄物は、炉心燃料に由來した放射性核種を含んでいること、津波や事故直後の炉心冷却に起因する海水成分を含む可能性があること、高線量であり処理・処分の実績が無いゼオライトやスラッジを含むこと、汚染のレベルが多岐にわたりその発生物量も大きいこと等、通常の原子力発電所で発生する放射性廃棄物と異なる特徴がある。

本講演では、事故廃棄物の発生・保管から処理処分までの一連の放射性廃棄物の取扱いを示す廃棄物ストリームの策定に向けた、廃棄物の性状把握（核種分析、インベントリ評価）、処理技術検討、長期保管方策検討、処分技術検討といった個別研究開発の状況等について概説する。

6. 講演者紹介メモ

1) 氏名 : 宮本泰明 (みやもとやすあき)

2) 略歴 :

1987 年～ 動力炉・核燃料開発事業団（現、日本原子力研究開発機構）
に入社

分子レーザー法ウラン濃縮技術開発に従事

1998 年～ 放射性廃棄物処理技術開発及び技術評価に従事

2010 年 日本原子力学会賞（技術賞）を受賞

「空気電離イオンに着目した α 放射能測定に関する物理現象の

解明と測定装置・手法の開発」
2011年～ 福島第一原子力発電所事故対応に従事
2013年～ 国際廃炉研究開発機構（IRID）の設立とともに兼職

廃止措置に向けた取組みの中で、特に放射性廃棄物の処理・処分に
向けた分野の研究開発を担当

3) 現在勤務先：

- 日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門
廃炉国際共同研究センター 研究推進室（室長代理）
- 国際廃炉研究開発機構 開発計画部（副部長）

4) 専門事項：放射性廃棄物処理・処分技術

次のEメールアドレスへ「会員（技術士（補）、部門）」又は「非会員」を
明記の上、参加をお申し込み下さい。

info@mechasys.ipej-knk.jp

（迷惑メール防止のため@の前に半角スペースが入っておりますので、上記
アドレスにメールをお送りの際は、半角スペースを削除して下さい。）

以上